

魅力味わいプラン提案

「新潟カレッジ」日程終了

がる 生大 山歌 巡る 地域 上越

関西圏の大学生が県内観光地を巡る体験実習企画「新潟カレッジ」(県、J R西日本

主催)が一部を除き、29日に最終日を迎えた。和歌山大の11人は

妙高市のいもり池、上グパークを立て続けに

訪問。上越地域の魅力を存分に味わい、糸魚川駅から帰路に就いた。

同企画は北陸新幹線開業に伴う本県と関西圏の地域間交流促進を前提に、若者目線による事前の旅行プランの立案、SNSを活用した行程中の情報発信が特徴。初実施の昨年度と同様に関西大、神戸松蔭女子学院大、和歌山大が参加し、県央、佐渡、上越地域の3コースで新たな「新潟

の旅」を発掘した。

上越コースは降雨により一部行程を変更したが、糸魚川市内のマリンドリーム能生や天険親不知、上越市内の雁木通りや高田城三重櫓、妙高市内の燕温泉や酒蔵など、主要な観光スポットを網羅。柿崎区内で民泊を経験し、地元住民と魚介料理の調理を通じた交流も図った。

物が想像以上においしかった」と感動。「食べ物と、地元の方との交流は(観光素材として)もっと推していきたい」と分析した。

佐渡コースは30日に小木一直江津航路で上越市に戻り、上越妙高駅から北陸新幹線に乗車する予定。コースごとに11月20日の成果報告会で観光素材の磨き上げプランを提案。優秀な提案はJ R西のJ Rおでかけネットで発表される。

ステージや催し多彩に夏祭り

メモリアルホームみずほ

糸魚川市水保の障害者支援施設メモリアル



上越市の新たな観光拠点「うみがたり」を訪問した学生たち。館内の各所で歓声を上げ、早速、SNSで友人らに情報発信していた